

 KSKP ひょうかれん	平成26年3月1日 No.75
	編集人 公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会 本條義和

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL.078-891-3871 / FAX.078-891-3872
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyokaren.or.jp>

本人・家族とともに (with Families) ～これからの家族支援～

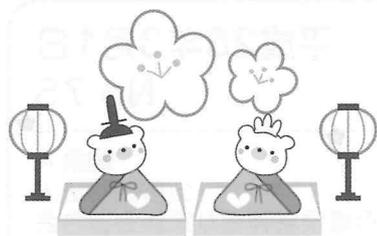
ひょうかれん会長 本 條 義 和

ひょうかれんは、本年9月25日に創立45周年を迎えます。会員各位はもとより大変多くの方々からのご指導、ご支援、ご協力のたまものと心より感謝申し上げます。

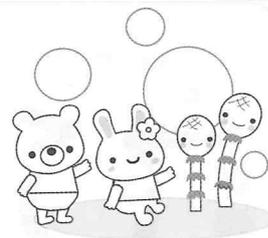
さて、昨年は一昨年に続き多くの精神保健福祉関係の法律が制定されたり、改正が行われました。当誌No.74でも触れていますように、6月に精神保健福祉法や障害者雇用法の改正が行われました。又、同じころ障害者差別解消法等の制定がなされ、更に12月に入ってから、障害者権利条約批准を国会が承認しました。

ただし、権利条約に批准したから問題がすべて解決したわけではありません。障害者権利条約にそぐわない法律は、改正していかなければなりません。例えば、精神保健福祉法の改正により保護者制度はなくなりましたが、医療保護入院における家族の同意要件は残りました。この、家族の同意の説明として「一般医療におけるインフォームドコンセントと同様である」というものがありますが、一般医療におけるインフォームドコンセントは、あくまで本人の選択権が大前提であり、本人とともに家族も説明を聞き、本人とともに承認をすることです。本人の意思に反する医療行為を、本人に変わって家族だけで承諾するという事は、ないとは言えませんが極めて限定的例外的とさえいえるものです。幸い3年後の見直しが法律の附則にも書いてありますので、3年後を目途に一般医療と同様に、本人と家族に対する説明と承諾とし、法文から家族の同意要件をなくし、本人の権利擁護のため代弁者制度を明記するよう訴えていきたいと思えます。

又、もう一点活動方針の一つとしてみんなねっとと連携し、「英国メリデン版訪問型家族支援」の普及活動を行うことです。尚、この家族支援も家族だけでなく、本人と家族全員をともに (with Families) 支援するという意味であることもつけ加えておきます。



お知らせ



国の精神保健福祉の動き

みんなねっとでは、精神保健福祉施策を前進させるために、理事会、三役会議、組織検討委員会等で議論を重ねるとともに、各種審議会等に参画し提言・要望しています。代表的な2つの委員会(審議会)を下記しますが、みんなねっとでは下記以外にもさまざまところで要望提言しています。県・神戸市については、8ページ等もご参照ください。

①障害者政策委員会

民主党政権時代にできた障害者制度改革推進会議は、障害者政策委員会と名称を変えましたが、月1回ぐらいのペースで、障害者基本計画等最も基本的な部分を検討しています。みんなねっとからは、川崎理事長が委員として出席しています。

②社会保障審議会障害者部会

7月18日、都道府県会館で、4年7か月ぶりに、第50回社会保障審議会障害者部会が開催され、以降概ね月1回開催されています。主な議題は、障害者総合支援法の施行と精神保健福祉法の施行についての2点ですが、みんなねっとを代表し、本條副理事長(当会会長)が委員として参画し、意見要望を述べています。

なお、部会のもとに、「障害者の地域生活の推進に関する検討会」(みんなねっとの飯塚理事が委員として参画)、「精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会」(みんなねっとの良田理事が委員として参画)を設置し、双方とも月2回～3回のペースで集中的に審議しています。

みんなねっとフォーラム 2013

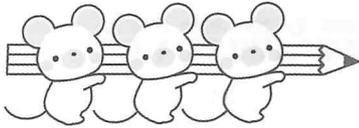
Work with Families -英国メリデン版訪問家族支援技術研修-

○プログラム

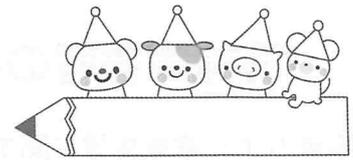
- 09:00～ 開場・受付
- 10:00～ 開会あいさつ／川崎洋子(全国精神保健福祉会連合会理事長)
- 10:15～10:55 講演Ⅰ「英国の精神保健福祉分野における介護者支援(ケアラー支援)の概要」
佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)
- 10:55～12:15 講演Ⅱ「Family Work について」Grainne Fadden 氏(Meriden Family Programme 所長、臨床心理士)
- 休憩(60分) —————
- 13:15～14:15 講演Ⅲ「Family Work の実践とその技術」Chris Mansell 氏(Meriden Family Programme 次長、看護師)
- 14:15～15:15 講演Ⅳ「本人と家族が共に支援されること — Family Work を通して伝えたい家族の思いと関わり」
Peter Woodhams 氏(Meriden Family Programme 職員、家族)
- 休憩(15分) —————
- 15:30～16:15 フロアとの質疑応答
- 16:15～16:30 閉会あいさつ／本條義和(全国精神保健福祉会連合会副理事長)

○日程

- <京都会場> 日 程：2014年3月5日(水) 10:00～16:30
会 場：京都テルサ(京都市南区東九条下殿田町70番地)
- <東京会場> 日 程：2014年3月7日(金) 10:00～16:30
会 場：津田ホール(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24)



ご 報 告



みんなねっと全国大会

NPO法人ころろ・あんしんLight 理事長 松永 貴久美

私は、「みんなねっと全国大会」9月10日、第3分科会「早期支援と教育」～ころろの健康を育むために～の、問題提起者として参加させていただきました。みんなねっと全国大会で初めて取り上げられたテーマです。

就学期の中にある思春期は、“ころろの健康のバランス”を崩し、精神疾患を発症しやすい時期にあります。しかし、学校では精神疾患の知識や対処法などの教育はありません。この分科会では、教育者の立場、家族の立場、支援者の立場、病院の立場から、思いや取り組みを紹介し、学校での精神疾患の知識、支援についての教育の必要性をみなさんで考えました。

当日まで、参加予定者は20名程と聞いており「興味のないテーマなのか…」と不安に思っていました。当日は50名以上の方が参加され会場は満員に。熱心に話を聞いていただき、参加者の中からの言葉に「我が家の子どもも、今、思えば中高生くらいから不調だったように思う。学校での精神疾患についての教育があれば子どもは、もっと早くに発信できたかもしれない。」と。また、教育機関の方も多く参加していただき、学校教育と早期支援の必要性を確信できました。

第7回兵庫県障がい者のじぎくスポーツ大会が開催される 「精神障がい者の部～バレーボール大会」

NPO法人中播磨峰の会 理事長 米 靖弘

平成25年11月22(金)、晩秋の秋晴れのもと、グリーンアリーナ神戸において兵庫県精神障がい者バレーボール大会が約600人の参加で盛大に開催されました。北は豊岡市、西は赤穂市などから県内各地の代表10チームが出場し、選手はもちろんスタンドからの応援団も一体となり、プレイが繰り広げられた結果、西宮市の「有馬ペガサス」が優勝し、大会3連覇を果たしました。

障がい者スポーツは障がい者が積極的に社会参加し、自己実現を図っていく上で大きな役割をはたしています。また多くの人に障がい者に対する理解を深めてもらう機会でもあります。昨年10月に東京で開催された「第13回全国障がい者スポーツ大会」の精神障がい者バレーボールでは近畿代表が3位に入賞、また精神障がい者フットサル(オープン種目)では準優勝と大健闘しました。

2020年に東京オリンピックが決まり、今や精神障がい者スポーツは大いに盛り上がりを見せており、益々発展することが期待されます。



精神障害者の福祉施策充実に関する要望書と回答(1)

※【 】内が県からの回答

(当事者および家族支援に関する要望)

1. 精神障害者相談員制度の法制化を国に働きかけてください。
【精神障害者相談員の法制化について国に提案しており、今後も引き続き行っています。】
2. ピアサポーター制度の充実を図ってください。
【当事者活動の支援については、精神障害者相談員制度における当事者のさらなる活用のほか、ピアサポーターの活用にかかる支援を行っています。】
3. 当事者活動および家族会活動に対する保健所の支援指導は必要です。後退しないように対策を講じてください。【精神障害者の家族支援については、健康福祉事務所や精神保健福祉センターにおいて電話や来所により相談できる体制を整えているほか、研修会等を行っており、今後もこれらの活動を実施していきます。】

(訪問型支援に関する要望)

4. イギリスの訪問型家族支援が、大きな効果を生じることよく知られています。本人だけでなく家族全員に対する訪問支援制度を設けてください。
【精神障害者の家族支援については、健康福祉事務所では電話や来所により相談のほか、必要に応じて訪問活動も行っています。また、24年度診療報酬改定において、精神科訪問看護の対象が入院中以外の患者と家族に拡大されました。また、精神科訪問看護について、地域における協議会等で働きかけを行っていきます。】
5. グループホーム・ケアホームの整備促進を図るとともに、共同生活援助事業者が安心して運営できるような報酬単価となるよう国に働きかけてください。
【グループホーム、ケアホームの整備促進に向け、県では整備費補助や家賃補助のほか、県営住宅におけるマッチング事業を進めています。また、市町に対しても市町営住宅の積極的な活用について働きかけを行っています。なお、運営費にかかる報酬単価の引き上げについては国に提案しています。】

(啓発・教育に関する要望)

6. 小中学校で、児童生徒に発達段階に応じて精神疾患を含めた心の健康についての教育を実施して下さい。
【教育委員会から別途回答します。】
7. 教職員に対して精神疾患を含めた心の健康に関する研修を実施して下さい。【6.と同じ】
8. 自治会での学習会等を通して、地域における心の健康教育を実施して下さい。
【自治会からの要望があれば、健康福祉事務所等がこころの健康づくりに関する研修会等を実施しています。また、地域移行・地域定着支援事業の中で、委託を受けた相談支援事業所が精神障害者に対する理解を深めるための研修会等を実施しています。】

(就労に関する要望)

9. 精神障害者の特性をよく理解し、企業側にもよく通じたジョブコーチ制度の充実を図って下さい。
【兵庫県内のジョブコーチは、障害者職業センターの配置型ジョブコーチが11名、社会福祉法人等に置かれた1号ジョブコーチが42名の計53名となっています。配置型ジョブコーチはもとより、1号ジョブコーチについても必要な専門的研修を受講していることから、精神障害者の特性理解について問題ないと考えています。要望の内容については、ひょうご障害者職業センターに伝えます。】
10. 精神障害者側と受け入れ企業側との理解を深めるための交流・講習会等を実施して下さい。
【一般就労等をしている精神障害者への支援に関しては、障害者職業センターでの精神障害者総合雇用支援事業など、雇用事業主及び支援対象者である精神障害者の双方に総合的な支援が行われています。また、精神障害者の一般就労は、要望の趣旨である広く一般的な交流会の開催よりも、個別の障害特性を理解した専門的な支援が効果的であると考えています。】

(次頁に続く)

精神障害者の福祉施策充実に関する要望書と回答(2)

11. 精神障害者就労を進めるために、県として社会的雇用のモデル事業を実施して下さい。

【障害者の社会的雇用モデル事業については、国の「障害者制度改革推進会議」において議論された経緯はありますが、具体的な施策には至っていません。今後とも、国の動向を見極めて対応します。】

(医療費に関する要望)

12. 自立支援医療自己負担金を助成して下さい。

【医療費については、国による制度設計によるところが大きく、県としても自立支援医療の低所得者の利用者負担の無料化を国に対し提案しています。】

13. 重度精神障害者医療費助成の対象を2級まで拡大して下さい。

【精神障害者健康福祉手帳2級を所持している方はいくつかの日常生活について援助なしにはできないということは認識していますが、全国的に見ても精神障害者を対象にした医療費助成を行っている都道府県が半数程度に留まっている中、兵庫県としては、厳しい財政状況において、今後も持続的で安定的な制度の維持に主眼を置き、特に障害程度の重い1級の方を対象としているところであり、当面は現在の枠組みを維持していきたいと考えています。】

(障害年金に関する要望)

14. 短期間就労することによって2級から3級へ変更され障害年金支給が停止となる事例が増えています。

障害等級の判定は、外面的形式的な基準ではなく、障害特性を考慮した上での生活のしづらさを基準とするよう、また認定時だけでなく状態の悪い時も考慮に入れた認定をするように国に働きかけて下さい。【国は就労したことをもって一律に障害年金が支給されなくなることはないよう、関係機関への通知や基準の改正等を行っています。未だに不適切な状況等があれば、県としても国に対し必要な提案を行っていきます。】

(福祉サービスの格差是正に関する要望)

15. JR運賃、航空国内運賃、有料道路通行料に格差があります。国及び各企業に働きかけるとともに、県としても独自の助成等施策を講じてください。【交通運賃割引制度の精神障害者への適用については、国や関係機関に引き続き要望を行っていきます。なお、バスについては、昨年9月に国の標準約款に運賃割引制度の精神障害者への適用が追記されたことから、県としても関係団体に働きかけを行っています。県独自の助成制度については現在の財政状況を勘案し実施は困難と考えています。】

P R

今、話題の健康食品『ソフィβ-グルカン』 厚生労働省認可

ガン 糖尿病 便秘 カゼ 花粉症 などの対策に!

** 免疫力向上のため、日々の健康増進のための機能性食物繊維 **

ヒト臨床試験により、免疫調整作用・血糖値改善作用などの良好な結果が得られました。

『イムニイSF』
1箱/30包入り

・健康維持のため : 1日1包
・病後・病中の方 : 1日3包

特別会員価格

通常価格 9,975円 ▶ 8,500円 税込

ご注文・お問い合わせ
● TEL 06-6244-7070
● FAX 06-6243-7070
● Mail planning@cruz.co.jp

▶ 送料 … 全国一律525円(税込)
※2箱以上で送料無料!
▶ 代引手数料 … 一律315円(税込)

株式会社クループランニング
大阪市中央区南船場2-12-16
http://sakurasalt.cruz-planning.co.jp

精神科対応

訪問看護ステーションミント

地域密着型・きめ細やかな対応で
あなたの地域生活を支援します!

訪問地域：明石市・加古川市・三木市
神戸市西区、垂水区など

〒675-1111 加古郡稲美町印南 1058-238

☎ 079-440-3199

合同会社アイグルー

〒673-0521 三木市志染町青山1丁目5番13号

総合受付 TEL 0794-88-8812 FAX 0894-88-8814

居宅介護事業 ポイントアート 自宅にお伺いして家事等をお手伝いします。

移動支援事業 ポイントアート 外出等の支援をさせていただきます。

計画相談支援事業 ポイントアート 支援に関する相談を承ります。

日中一時支援事業 ポイントアート青山 日中の休憩場所としてご利用いただけます。

就労継続支援B型事業 レクリエイト 飲食店での活動や制作物の販売等を行います。

まずはご連絡下さい。★三木市以外で神戸市西区・北区等近隣他市の方々の利用もご相談を承ります。

TOPICS

兵庫県下各地区・各家族会より(1)



中・西播
但馬地区

平成25年度 但馬地区家族会連合会の 活動を振り返って

なんたんひまわり家族会 会長 小田 垣 章

但馬地区兵家連加盟の五つの家族会は、実行委員会を結成して、研修会等の活動を輪番で担当している。

◇ 新規発症患者家族教室(なんたんひまわり家族会担当)

例年冬季に実施しているが、降雪等交通事情を考慮して、今年は7月に開催した。新規発症者の参加は1名であったが、不参加の発症者?を抱える家族の参加もあり、関係機関の職員などを含めて参加者は72名を数えた。

講演(講師は兵家連顧問の藤田修美氏)・グループ毎の話し合いと発表・講師の助言指導等々予定時間を大きくこえたが、盛会であったと自負している。

◇ 精神保健福祉研修会(のぎく家族会担当)

11月21日(木)新温泉町の夢ホールで開催。参加者総数210名を得て、盛大に開催できた。

鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊氏の来県を得て、テーマ『明るく楽しい家庭づくりをめざして』として、講演をして頂いた。精神保健法の改正等法律の改革など年代を追っての解説、今後どうあるべきか。「理解は、まず出会うことから。」

お互いを知り、つながっていくことの大切さなど等多くの示唆提言を頂いた。

アトラクションとして、海上傘踊り保存会の会員による「海上傘踊り」は、参加者は熱心に鑑賞され、本研修会に花を添えて頂いた。



阪神地区

皆さんへの手紙

芦屋家族会 会長 島 サヨミ

心を病む方の家族である皆さんへ。あなたは、どのように日々の心を保たれていらっしゃいますか。どのように日々のやらねばならないことを続けていらっしゃいますか。

私達芦屋家族会の会員も、障害をもつ家族の日常や将来、要望しても要望しても解消しない障害間格差、自身の年齢や疾病、背負いきれない荷を持って歩いています。

あなたは、私は、どのように歩くのか、歩いていけるのか。このことが心を占めます。答えは、それぞれの裡にあると思います。前や横を歩く皆を見、自分自身を見ながら、人は自分の足で歩かねばなりません。

どうしても歩き続けることが出来ない時、私達はどうして来たでしょう。誰かと話す、それは自分自身と話すことも含めて、とにかく話す。そのことで、どれだけ助けられてきたか。自分を信じて、時のたつのを待つこともあります。眠りからさめた時、少し気持ちがおさまっていることがあります。

そして、心をといてやること。芦屋家族会の月例会は、終りに皆で唄います。80才をこえたMさんが、2曲用意して下さいます。季節の唄、なつかしい唄を、大きな声で。大切な大好きな一時です。皆さんいかがですか。

兵庫県下各地区・各家族会より(2)



東・北播
丹波地区

「親と子はどうすれば？」 丹波・北播地区精神保健福祉研修会より

みちくさ家族会 会長 柳 澤 孝 省

標記研修会が12月11日篠山市丹南健康福祉センターで開催されました。「これから私達(親も子も)どうすればいいの?」～親の思い・子の思い～の演題で、講師 NPO 法人ハートフル(西宮市) 副理事長水野耀子氏と体験発表者福島良子さん(親) 福島信吾さん(子)の対話方式から福島さん親子の体験発表を踏まえ、地域で生きていくにはどうすればいいか、それには自分自身(当事者も家族も)の偏見を解消しなければならない、周りに知られたくないと壁を作ってしまう、また病気や障がいを素直に受け入れ、きちんと治療する気持ちや自分の状況を医師など周りの人に伝えられる当事者でないとうまくいかない、家族の感情はそのまま本人に伝わるので家族の笑顔は本人を元気にする源である、また困った時に親身になって話を聞いてくれる人が必要である。

後半では岩本眞知子さん(つつじ会家族会)、柳澤孝省(みちくさ家族会)との対話もあった。



神戸地区

ピアサポートについて

NPO法人中央むつみ会 笠 原 健

中央むつみ会では2008年3月から「障がいがあって生きる 体験談を語る事業」を始め、その経過の中で、心の病で長期入院患者さんの地域への退院支援に、ピア=仲間(同じ心の病を体験した同士)が力になって、より地域での暮らしをイメージし退院していく不安を和らげるキッカケを、と動いています。

また、中央むつみ会では、ピアサポーターズクラブ「こころの相談室」(TEL078-262-7511・土日曜休み)を立ち上げ、同じくピアが、病を体験した同士しかわかりにくいのかも・・・といったところを、快復してきた中央むつみ会のメンバー3人が中心となって、体験談をもとに、相談者(心の病の本人さん、またその家族を含む)の話を丁寧に聴く事業を行っています。

私自身、3年近くピアサポーターとして活動し、家族向けにも講演をしています。私個人の活動は「詩人 artist けんぼー」またはHP:「詩人 artist けんぼーの世界」で是非ご検索を!!

精神障害者相談員の法制化を求める請願書が採択
～県会議員精神保健研究会との連携で～

本條ひょうかれん会長は、5月30日参議院厚生労働委員会の参考人質疑に参加しましたが、その時に兵庫県精神障害者相談員制度についても質疑があり、その活動状況等を詳しく説明しました。

その後、8月16日に県議会応接室において開催された県会議員精神保健研究会(当会から会長・涌波副会長が出席)でも精神障害者相談員の法制化を訴え請願書提出の意向を伝えました。

また、9月議会の冒頭に「精神障害者相談員の法制化を求める意見書提出」を請願(請願番号 第81号)致しましたが、10月25日の本会議において全回一致で採択され、衆参両院議長、内閣総理大臣及び内閣官房長官総務大臣、厚生労働大臣に、「精神障害者相談員の法制化を求める意見書」(意見書第49号)が送付されました。

兵庫県議会議員精神保健研究会会員名簿 (24.2.1現在)

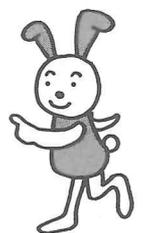
会 派	会 員 (◎は世話人) 計52名			
自由民主党 (26)	日村豊彦(豊岡市) ◎山本敏信(高砂市) 松本隆弘(明石市) 上田良介(美方郡) 小西隆紀(篠山市) 安福英則(朝来市) 北浜みどり(灘区)	釜谷研造(加古川市) 伊藤 傑(須磨区) 加田裕之(長田区) 藤本百男(加東市) 高橋しんご(東灘区) 大前はるよ(西宮市) 加茂 忍(川西市・川辺郡)	永田秀一(南あわじ市) ◎小田 毅(加西市) 井上英之(加古川市) 内藤兵衛(多可郡) 仲田一彦(三木市) 川井田清信(伊丹市)	藤原昭一(小野市) 石川憲幸(丹波市) 原テツアキ(淡路市) 北野 実(姫路市) 大谷勘介(尼崎市) 榎本和夫(明石市)
民主党・県民連合 (10)	永富正彦(加古郡) 上野英一(神崎郡) 前田朋己(東灘区)	黒田一美(垂水区) 徳安淳子(尼崎市) 越田謙治郎(川西市・川辺郡)	岸口 実(明石市) 山本千恵(伊丹市)	◎掛水すみえ(西宮市) 三戸政和(高砂市)
公明党・県民会議 (9)	合田博一(伊丹市) 越田浩矢(長田区) 岸本かずなお(加古川市)	下地光次(尼崎市) 島山清史(須磨区)	谷井いさお(尼崎市) 北条やすつぐ(姫路市)	◎大野ゆきお(姫路市) あしだ賀津美(北区)
日本共産党 (3)	きだ 結(東灘区)	◎ねりき恵子(宝塚市)	宮田しずのり(尼崎市)	
無所属 (4)	石原修三(西区)	和田有一朗(垂水区)	野々村竜太郎(西宮市)	中田英一(三田市)

ひょうかれん
賛助会員
募集

あなたのご支援で、ひょうかれんは運営されています!

年会費 団体の場合 1口 10,000円
 個人の場合 1口 3,000円
 一口以上、何口でも結構です

振込先 郵便振替 01110-4-83568 兵家連



第9回兵庫県障害者芸術・文化祭 平成25年度兵庫県障害者福祉大会

【日時】平成25年11月30日(土) 【会場】養父市立八鹿文化会館ホール

平成25年度障害者福祉大会も、第9回兵庫県障害者芸術・文化祭と同時開催で実施されました。こういう形で行われる障害者福祉大会が但馬地区で開催されるのは初めてのことでした。但馬地区からも多くの人に参加され盛大に開催されました。早くから準備にご尽力いただいた、なんたんひまわり家族会ははじめ但馬地区の各家族会の皆様、ありがとうございました。

おめでとうございます

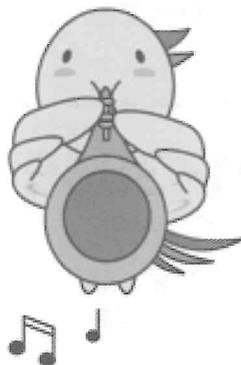
ひょうかれん会長表彰受賞の皆さん

氏名	住所	所属
新免 徳三	豊岡市	ざくろ家族会
畑中 睦子	神戸市	ひまわり家族会
岩永 静子	明石市	明石ともしび会家族会
小倉 千鶴子	姫路市	しらすぎ家族会
石本 勝	神戸市	兵庫みなとがわ家族会
久下 弘	西脇市	白ゆり会家族会
國下 透	豊岡市	ロマンハウス家族会
古岡 菊雄	美方郡	のぎく家族会
上田 修司	加古川市	すぎな家族会
伊藤 柳子	神戸市	社会福祉法人すいせい
井之上 紀子	丹波市	木の根会家族会



プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 オープニングステージ
子どもミュージカル劇団 FUNKY キッズ (賛助出演)
- 13:10 第9回兵庫県障害者・芸術文化祭 第1部
龍野北高等学校 (Welfare-collection 2013)、ブレイクスルー (フラメンコ)
音楽グループ コスモス (ミュージックベル)、大植病院 (花笠音頭)
- 14:10 平成25年度障害者福祉大会 (司会: 龍野北高等学校放送部)
- 15:00 第9回兵庫県障害者・芸術文化祭 第2部
豊岡聴覚特別支援学校 (手話ソング)、出石精和園 (日本よさこい数え歌)
和田山特別支援学校 (ダンス)、出石特別支援学校 (合唱・踊り)
- 15:50 合唱『With You Smile』舞台や会場のみなさんで大合唱
(ガイドボーカル: 子どもミュージカル劇団 FUNKY キッズ)
- 16:00 閉会



電話
相談

Q & A

電話相談室担当 P S W

【一人暮らしについて】

今回もご相談いただいたご家族からの事例を取り上げたいと思います。
なお、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

質問

相談者：当事者の母70代

40代の娘のことで相談です。娘は20代で統合失調症を発症し、以後入退院を繰り返しつつ療養生活を続けてきました。現在、私と娘の二人で暮らしており、娘は障害基礎年金2級を受給しています。最近、娘が一人暮らしをしたいと言うようになりました。親としてその気持ちは嬉しく応援したいのですが、一人でちゃんと生活していけるか心配です。一人暮らしをサポートしてくれるような制度はありますか？

回答

お話を伺っていると、娘さんのお気持ちを大切にしたいという想いが伝わってきます。また娘さんご自身も自立しようと頑張っておられるのですね。障害を持ちながら地域で一人暮らしをしておられる方の中には、デイケアや就労支援施設に通ったり、訪問看護やホームヘルパーを利用しながら、上手に生活されている方がたくさんいらっしゃいます。訪問看護とは、安心して日常生活を送れるよう看護師などが定期的に訪問して相談や必要な支援をしてくれる医療行為です。ホームヘルパーは、家事の苦手な部分を手伝ってくれたり、一部代行してくれたりします。

また、いきなり一人暮らしは難しいという場合には、障害をお持ちの方を対象としたグループホームに一旦入居して、支援者と様々な生活の練習を行いつつ、時間をかけて一人暮らしに備えるという方法もいいかもしれませんね。

経済的には、働くことが難しくても、収入が国の定める最低生活費に満たない場合でいくつかの条件に当てはまれば、生活保護の対象となる場合もあります。

必要な支援を選んで上手く利用されることにより、一人暮らしがより快適で実りのあるものになるかと思います。訪問看護を利用する際は医師の指示書も必要となりますので、具体的な利用方法については、地域の相談支援事業所や通院先のソーシャルワーカーなどにご相談下さい。娘さんの一人暮らしが実現できる日が来ることを陰ながら祈っております。



お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

TEL. 078-891-3886

土・日・祝日を除く平日10:00~12:00、13:00~15:00

病気の事や経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度(手帳・年金・他)利用の手続きなどについて、県から相談員として委嘱された家族会員や精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。

ハロー

当事者の声

【インタビュー】 当事者の立場から伝えたいこと

NPO中播磨峰の会作業所 牛尾 秀明

協力者のプロフィール：51歳、男性、福崎町在住(独居生活)

中学生のころに悩みをかかえて不登校に。その後、約2年間のひきこもりと統合失調症に苦しみ、ときには入院することもありました。現在は、峰の会作業所で仕事をしながら自立した生活を送られています。



つらかったときのことを教えてください

引きこもっていたときは1年半以上誰とも口をききませんでした。幻聴も聞こえて、始めのころは振り回されていました。精神病院に入院することが決まったときは少しほっとしました。

支えてくださる人はいますか？

信頼できる先生がいろいろな経験をさせてくださいました。おかげで気持ちに余裕が持てるようになりました。今は、「牛尾さんに傍におってほしい。」と言ってくれる友達もいます。

夢は何ですか？

悩んでいる人を助けたいです。支援者とともに講演会をすることがありますが、今後も続けていきたいです。また、ピアサポーター*として悩みを聞いたり、必要なときには病院に誘ったりしていくことも続けていきたいと思っています。*ピアサポーター；ピアは「仲間」、サポーターは「支援者」という意味で、同じ悩みを抱えている人のサポートをする人のこと。



精神疾患で悩まれている方に伝えたいことはありますか？

早期発見・早期治療がとても大切です。まずは誰かに相談してください。規則正しい生活のリズムを作り、少しでも外に出ることができる人は外に出て欲しいです。自分は仕事をする中でいろんなことを学びました。また精神障がい者の家族の方々には支えになって欲しいと思います。

神崎郡の方々に伝えたいことはありますか？

偏見をなくして、精神障がい者の方と話をして欲しいです。精神疾患は特別な病気ではありません。インタビューを通して、「つらい経験をした自分だからこそ誰かの役に立ちたい」という、牛尾さんの熱意がとても伝わってきました。精神疾患と向き合うことも生活の一部としてとらえながら、自分らしい生活を送っておられる牛尾さんに元気をもらいました。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター

電話番号 078 - 367 - 7210

平日：午後5時～翌日午前9時
土・休日：午前9時～翌日午前9時
(平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に教えてください◆

ひょうかれん活動日誌

役員 の 動き

- | | |
|--|--|
| <p>9月</p> <p>2 第9回きょうだいい会(県福祉センター) (本條・藤田修美)</p> <p>9・10 みんなねっと大阪大会(大阪国際会議場)</p> <p>11 県障害福祉課(請願書提出)(県庁) (本條)</p> <p>12 県精神科病院協会第48回レク活動発表大会(姫路市文化センター) (米)</p> <p>18 第62回県社会福祉大会(精神障がい者自立更生者知事表彰)(宝塚市)
県議会宛請願書提出についての打ち合わせ(議会事務局) (本條)</p> <p>19 第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」兵庫県選手団結団式(兵庫県民会館) (本條・涌波)</p> <p>23 NPO法人よつ葉会 就労継続支援B型「タオ工房」開所式 (涌波)</p> <p>24 ひょうご障害者めぐもり応援団創立会議(県福祉センター) (涌波)</p> <p>第51回社会保障審議会障害者部会(東京都市センターホテル) (本條)</p> <p>26 みんなねっと組織検討委員会(東京都障害者福祉会館) (本條)</p> <p>27 阪神地区精神保健福祉研修会実行委員会(木口記念会館) (芦屋家族会)</p> <p>29 第25回全国車いすマラソン大会(開会式)(篠山市役所前) (細見)</p> <p>10月</p> <p>10 みんなねっと大阪大会ワーキンググループ会議(アネックスパル法円坂) (涌波)</p> <p>11 家族教室西播地区(宍粟市)(宍粟市北庁舎)(宍粟すぎの木家族会)</p> <p>15 第52回社会保障審議会障害者部会(厚生労働省) (本條)</p> <p>18 第24回静岡県精神保健福祉大会(講師)(アイセル21静岡市葵生涯学習センター) (本條)
東播臨海精神保健協会第25回ふれあいフェスティバル(開会式)(加古川市日岡山公園グラウンド) (米)</p> <p>19 家族教室阪神南地区(尼崎市)(尼崎市立すこやかプラザ) (尼崎中央家族会)</p> <p>20 第52回近畿知的障害者福祉大会(西宮市民会館アミティホール) (瀬谷崎)</p> <p>21 平成25年度第2回理事会(県福祉センター) (理事・監事・顧問)</p> <p>23 第2回障害者雇用・就業支援ネットワーク会議(県中央労働センター) (涌波)</p> <p>25 メリデンプロジェクトチーム会議(みんなねっと)(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>28 みんなねっと理事会(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>29 武庫川女子大学(講師)(武庫川女子大学 鳴尾浜) (松永・小松)</p> | <p>11月</p> <p>5 秋の花と緑を愛でる会(加西フラワーセンター) (本條・涌波)</p> <p>7 みんなねっと大阪大会会計監査(大家連事務所) (涌波)</p> <p>10 第10回きょうだいい会(県福祉センター) (本條・藤田修美)</p> <p>11 要望書提出(県庁 障害福祉課) (本條)</p> <p>12 鳥取県連三者合同研修会(講師)(鳥取県立倉吉体育文化会館) (本條)
第6回全国精神保健福祉大会第5回実行委員会及びワーキンググループ会議(アネックスパル法円坂) (涌波)</p> <p>13 家族の手引き編集会議(みんなねっと)(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>18 ひょうかれん家族のピアサポート研修会(県福祉センター)</p> <p>19 第53回社会保障審議会障害者部会(厚生労働省) (本條)</p> <p>21 但馬地区精神保健福祉研修会(新温泉町夢ホール)(のぎく家族会)</p> <p>22 第7回県障害者のじぎくスポーツ大会精神障害者部(バレーボール大会)(グリーンアリーナ神戸) (米)</p> <p>23 精神保健従事者団体懇談会(精従懇/せいじゅうこん)フォーラム・シンポジウム(講師)(東京 大手町サンケイプラザ) (本條)</p> <p>27 会誌 #75 編集会議(県福祉センター) (本條・涌波・米・久下・伊東)
県障害福祉課入江課長来所(ひょうかれん事務所) (本條)</p> <p>30 兵庫県障害者芸術・文化祭(福祉大会)(養父市立八鹿文化会館ホール)</p> <p>2 ひょうご人権ネットワーク会議(兵庫県会館) (本條)
市町障害保健福祉担当課長会議(兵庫県中央労働センター) (米)</p> <p>4 家族教室東播・淡路地区(淡路市)(淡路市防災あんしんセンター) (いきいき家族会)</p> <p>5 県社協第2回権利擁護部会(県福祉センター) (本條)</p> <p>6 関西国際大学木下准教授来所(ひょうかれん事務所) (本條)</p> <p>8 家族教室神戸地区(神戸市灘区)(神戸市勤労会館)(木の芽家族会)</p> <p>9 (社)わーくわくねっと設立総会(姫路南極ビル) (本條・米)</p> <p>11 丹波・北播地区精神保健福祉研修会(丹南健康福祉センター) (みちくさ家族会・涌波)
家族のてびき編集会議(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>12 第13回全国障害者スポーツ大会兵庫県選手団反省会(県庁)(本條)</p> <p>13 中・西播磨地区精神保健福祉研修会(相生市総合福祉会館) (元気アップみのり家族会)</p> <p>14 家族教室阪神北地区(伊丹市)(伊丹市図書館ことば蔵) (伊丹あじさいの会)</p> <p>16 神戸市議会 藤原前議長(神戸市議会事務局) (本條・涌波)</p> <p>17 神戸学院大学(講師)(神戸学院大学有瀬キャンパス) (いこいの場ひょうご 高瀬)</p> <p>26 第54回社会保障審議会(厚生労働省) (本條)</p> <p>27 家族支援PT(メリデン)(みんなねっと事務所) (本條)</p> |
|--|--|

※三役会議・家族会部会(10/3・12/4 県福祉センター 本條・涌波・米・瀬谷崎・大倉・河上)

※ひょうかれん精神保健福祉講座(第1回10/11・第2回11/11・第3回12/25 県福祉センター)

編集後記

地元作業所誌に投稿してきた当事者のマンガ家太郎さんを神戸新聞記者が取材(三木版12月10日記事に)、彼は30年描き続け「生きた証」を残したいという。誰も二度とこない人生、同じ想いだらう。いかに生きたかが「後世最大の遺物」の言葉がある。病・障害があっても何かに夢中になり、ひたむきに生きれば人々の心に刻まれるだろう。(伊東) 編集委員 / 本條・涌波・米・久下・坂井・伊東・梶山